

# 平成 18 年社会生活基本調査の概要

## 1 目的

この調査は、国民の生活時間の配分及び自由時間等における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにするための基礎資料を得ることを目的としています。

## 2 調査の範囲

### (1) 調査の地域

平成 12 年国勢調査調査区のうち、総務大臣の指定する約 6,700 調査区において調査しました。熊本県においては、125 調査区です。

### (2) 調査の対象

指定調査区の中から選定した約 8 万世帯にふだん住んでいる 10 歳以上の世帯員約 20 万人を対象としました。熊本県においては、約 1,500 世帯にふだん住んでいる 10 歳以上の世帯員約 3,500 人です。

## 3 調査する事項

調査票 A (プリコード調査票) …過去 1 年間の生活行動、1 日の生活時間配分 (選択方式)

調査票 B (アフターコード調査票) …1 日の生活時間配分 (自由記入方式)

## 4 調査時期と周期

平成 18 年 10 月 20 日現在で実施しました。

生活時間については、10 月 14 日から 22 日までの 9 日間のうち調査区ごとに指定された連続する 2 日間について調査しました。

5 年ごとに調査を実施しており、次回調査は平成 23 年 10 月の予定です。

## 5 調査の方法

総務省統計局—都道府県—指導員—調査員—世帯の系統により、調査員が調査世帯ごとに調査票を配布及び収集する方法により行いました。

## 6 結果の公表

総務省統計局において、結果原表の閲覧又は電磁的記録を紙面等に表示し閲覧に供する方法により順次行います。

調査票 A に係る結果 (生活行動) …平成 19 年 7 月 9 日

調査票 A に係る結果 (生活時間) …平成 19 年 9 月 28 日

調査票 B に係る結果 …平成 19 年 12 月 21 日